

令和元年9月30日



みんな輝け和泉っ子

和泉

10 月号

## 読書の秋です！



副校長 森 飛鳥

暗くなるのが早くなり、夕方になると虫の音が響き、秋の深まりを感じるようになりました。子ども達も帰宅時刻が早まり、家で過ごす時間が増えていると思います。さあ、今が読書好きの子どもを育てるチャンスです。

親子で一緒に本を選んだり、読んだりすることが、子どもの読書習慣形成につながります。そこで、図書館へ行くことをお勧めします。たくさんの本に囲まれると、「読みたい。」という意欲が高まります。また、大人が読書をしている姿を見せると「読書って楽しいのだな。」と思うようになります。

夏休みにもたくさん子ども達が読書を楽しんだようで、本校では、読書感想文コンクールに50名の児童が応募しました。児童書は、大人でも楽しめるものばかりです。親子で感想を話し合うのも楽しいですね。今年度の読書感想文課題図書の中から、3冊紹介します。

### 1・2年生 小学校低学年の部

「心ってどこにあるのでしょうか？」 こんのひとみ 作 いもとようこ 絵

心ってどこにあるのかな？嬉しいときにドキドキするから胸かな？嫌なことがあると痛くなるからお腹かな？目を見ただけで気持ちが分かるから目かな？気持ちと一緒に変化する身体と心と結び付けていて、心が温くなる絵本です。

### 3・4年生 小学校中学年の部

「そうだったのか！ しゅんかん図鑑」 伊知地国夫 写真

水入り風船がわれるとき、コップの水がこぼれるとき、ロウソクの炎が消えるときなど肉眼では見えない一瞬を写した写真絵本です。形の美しさや面白さに引き込まれる科学読み物です。

### 5・6年生 小学校高学年の部 「ぼくとニケ」 片川 優子 作

幼なじみの仁菜が拾ってきた子猫のニケを「ぼく」の家で飼うことになります。仁菜との関係や命について悩みながら「ぼく」が成長する姿を描いた物語です。今年度の座談会の本にも選ばれました。



今年度の前期が終了します。本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。「あゆみ」を配布いたしますので、ご家庭でも振り返りをしていただき、後期からの学習等に生かしていただけたらと思います。